

第 18 回議会報告会 報告書

地域名	宿南地域		
年月日	平成 30 年 10 月 23 日 (火)	会場名	宿南ふれあい倶楽部
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 00 分
参加数	男 15 人	女 8 人	合計 23 人
班 長	政次 悟	司会者	谷垣 満
報告者	班員全員	書記	荒田 幹夫
班員名	政次 悟、谷垣 満、荒田 幹夫、瀬原 達夫		
	市 民	対 応	
報告に対する質疑	<p>① 新しい図書館ができれば、旧町ごとにある図書室はどうなるのか。</p> <p>② 八鹿病院の赤字が昨年より 2 億円程度増えているが、原因は何か。</p>	<p>① 当面は今の体制を維持しつつ連携しながら活用することになる。ただ、市の公共施設管理計画によると将来的には一つの文化会館、図書館にならざるを得ない。集約化の方向になると考えられる。</p> <p>② 医師不足に加え、人口減少や医療機関ごとに県の保健医療計画で位置づけられた対応も影響していると考えている。</p>	
意見交換会での質疑・その他(提言など)	<p>① 寄宮の治山堰堤の希望を数年間出しているが、対応してくれない。議会としても応援してほしい。</p> <p>② 山林を活用し、木造建築とすべきである。</p> <p>③ 市政運営に対し議会の役割が見えてこない。市長の言いなりなら議会など要らないということになるのではないか。</p> <p>④ 農業特区は個々の農家に何のメリットもない。もっと地元や小規模農家にも配慮すべきだ。</p>	<p>① 議会からも市につなぐので要望書を出してほしい。</p> <p>② 現在の八鹿文化会館は耐震構造ではなく、大きな地震には耐えられない。40 億円の資金には有利な合併特例債も使い市の負担を少なくしている。木造利用については担当課に思いは伝える。</p> <p>③ 議会活動が市民の皆さんに見えていない。情報提供が不十分だとすれば、謙虚に受け止めつつ、ご意見は今後の議会に反映させたい。</p> <p>④ 特区の効果は個々の農家まで行き渡っていないと思うが、ふるさと寄附金等での効果もあり、これは間接的には市民にも還元されていると考えている。</p>	

<p>⑤ やぶパートナーズは今後どうなるのか。</p> <p>⑥ 文化会館の予算が5億円増えているようだが、なぜこんなに大きな差異が生じるのか。当初の計画が甘すぎたのではないのか。</p> <p>⑦ 職員の異動が早すぎて、何も知らない職員が多すぎるのではないのか。</p>	<p>⑤ 来年度をひとつのめどとして方向性を示すよう意見具申している。</p> <p>⑥ 取得用地面積の増加と取得単価の増に加えて最近の建設物価の上昇によるものである。</p> <p>⑦ ご意見として聞く。</p>
<p>(今後の改善点等)</p>	

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

平成30年10月25日

報告者 1班 班長 政次 悟

